

令和7年度赤い羽根共同募金 具体的取組計画

スローガン「助け合い 広がる つながる 赤い羽根」

朝来市共同募金委員会

◇ 取組方針

今日の地域社会は、物価高騰、経済格差、地域のつながりの希薄化等様々な影響で生活困窮やひきこもり、虐待など福祉課題が多様化・深刻化しています。

加えて近年、地震や大雨等の災害の激甚化で、改めて「地域のつながり」、「人のつながり」、「助け合い」活動の必要性が再認識されてきました。

このように社会の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度や分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、このような状況だからこそ必要とされる、人と人、人と社会がつながることで一人ひとりが役割や生きがいを持ち、助け合いながら暮らしていく地域づくりのための有効な財源として共同募金を位置づけ、市民の地域福祉活動への意識の高まりと活動の拡大を目指します。

◇ 取組事項

◆地域住民が共同募金の役割を身近に感じられるよう、広報等の活動によって広く運動の趣旨をご理解頂くと共に協力を呼びかける。

- ・9月を広報月間として、社協広報、ポスター、啓発チラシを作成し、募金趣旨と配分使途をPRする。
- ・配分事業の内容や成果を住民や寄付者に分かりやすく示すため、社協だより、ホームページに掲載するだけでなく、共同募金配分事業を実施している区の映像等を流し、地域の活動に共同募金が活用されていることを広く周知していく。

◆住民が身近な地域で参加できる共同募金運動を推進する。

- ・戸別募金への協力が「じぶんの町をよくするしくみ」として地域福祉の推進に役立つことを意識してもらい、強制感をなくしたり個人情報保護の点から、封筒募金を継続実施する。
- ・CATVにおけるスポットコマーシャルを放映し啓発する。共同募金のテーマソングである「おたがいさまの歌」を市内園児に披露いただき、その映像をケーブルテレビで放映し、若い世代にも共同募金の理解・協力をいただけるようPRしていく。
- ・小学生、中学生、高校生へ街頭募金ボランティアを募り、小さい頃より共同募金を身近に感じてもらおう。

◇ 令和7年度募金計画額及び具体的取組計画

	7年度募金計画額	6年度実績額	
1 戸別募金	6,016,000	5,838,621	市内各区長を通じ募金運動を展開 【区長】依頼状 チラシ(隣保回覧) 【各戸】募金用封筒・あかはねちゃんシール (赤い羽根に代わるもの) お渡しする [募金取り纏め]11月末 [募金集計]各地域センターで開封し集計する
2 街頭募金	80,000	104,404	【募金箱の設置】社協本部・各地域センター・ 市役所窓口・事業所等 【街頭募金場所】道の駅但馬のまほろば、たじま んま、フレッシュあさご、イオン和田山店 (募金推進委員、職員、小・中・高校生徒)
3 法人募金	1,500,000	1,463,276	前年度ご協力頂いた法人を中心に募金協力依頼 9月末にご依頼状送付 ※新規以外は納付書を同封し、振り込みによる募 金を依頼
4 学校募金	130,000	114,697	【市内小中学校及び高等学校・特別支援学校・ こども園】 あかはねちゃんシール・募金用封筒・ポスター・ 壁新聞を活用
5 職域募金	110,000	119,292	【市役所、その他事業所・社協各事業所等】 募金箱の設置や回覧で実施をお願いする
6 その他の募金	10,000	15,384	【地域ミニデイ、ぶちサロン、その他】 窓口で募金の呼び掛けをする。
募金合計	7,846,000	7,655,674	

↓

広域目標 587,000円 ＋ (地域目標額 6,896,000円 (95%) ＋事務費 363,000円 (5%))

※広域目標額とは、県共募より決められた額で災害時に使用するため

